



三重県の建設業をとりまく現状

(建設業界と県土整備部)

～プロローグ～

令和4年9月5日

建設業課長 林田 充弘



1. 建設業に期待する役割
2. 県内建設業の現状
3. 建設業が直面する喫緊の課題
4. 技術の承継を促す取組
5. 県土整備部が直面する喫緊の課題
6. 県土整備部における技術力承継の取組



1. 建設業に期待する役割

(1) 社会資本の整備と維持修繕を担う建設業



一般国道421号大安ICアクセス道路事業



阿田和地区急傾斜地崩壊対策事業

(2) 地域の安全・安心を担う建設業



一般国道166号 土砂崩落 緊急対応状況

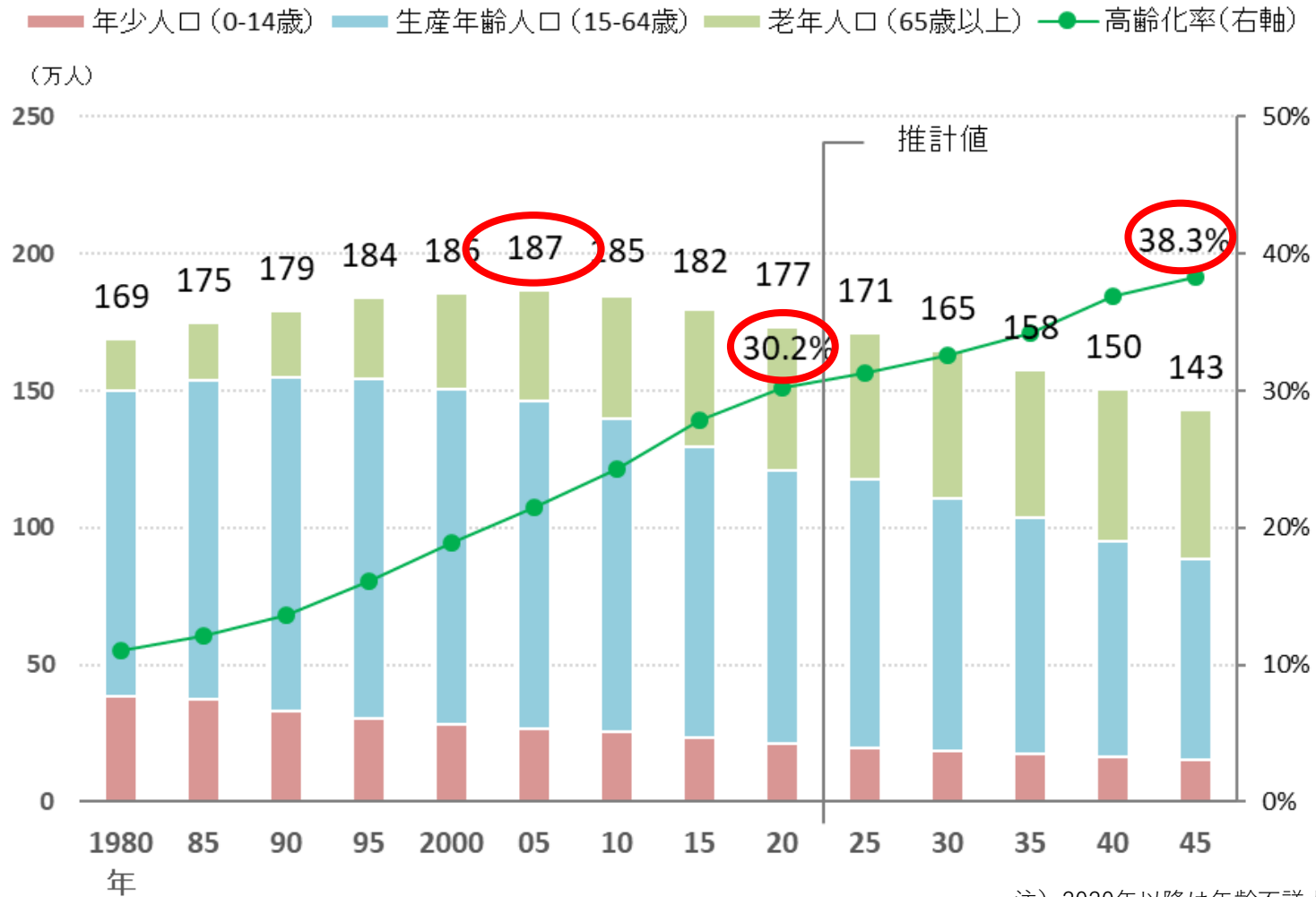


豚熱 緊急対応状況



2. 県内建設業の現状

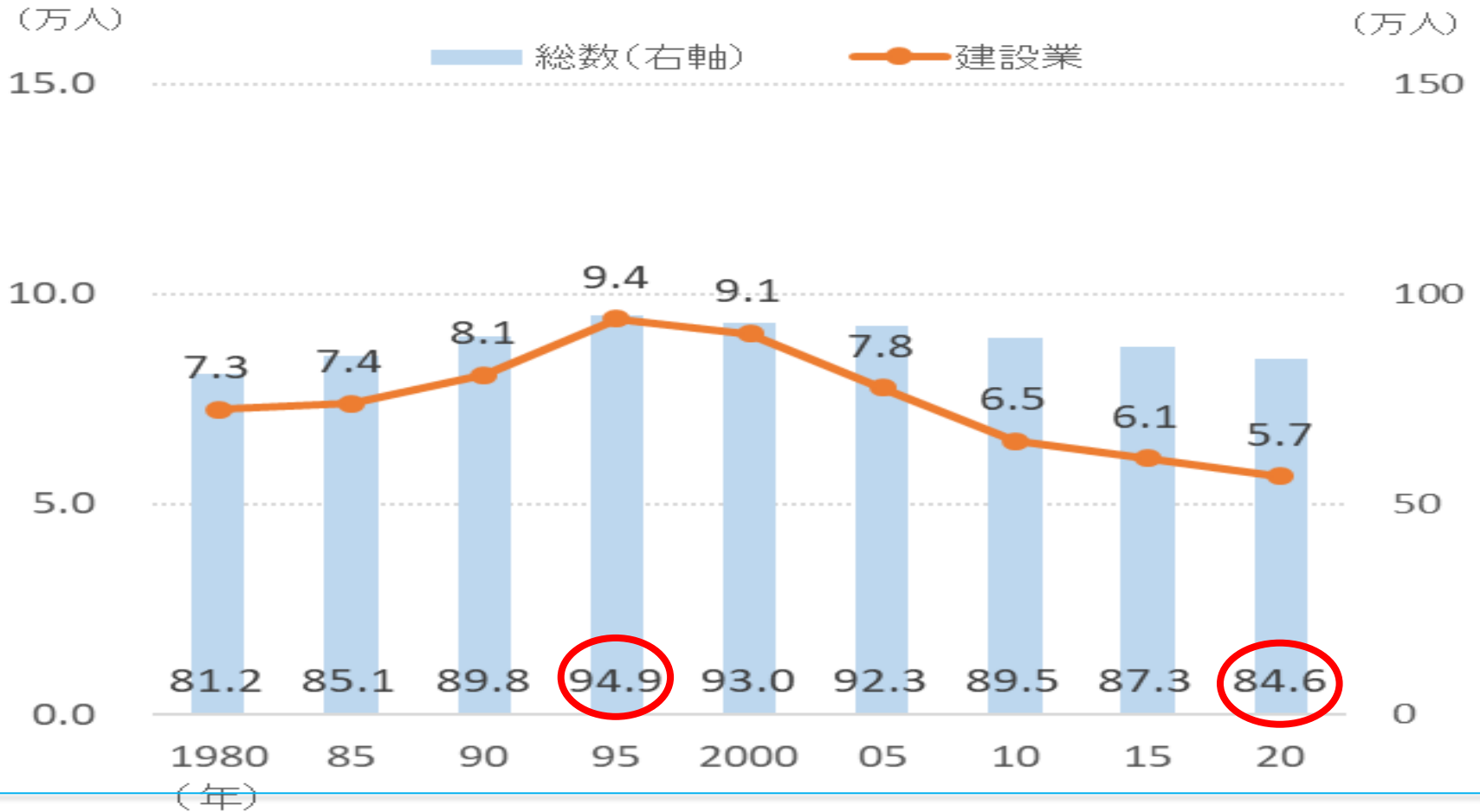
三重県の人口動向





2. 県内建設業の現状

三重県の就業者数（総数及び建設業）の推移

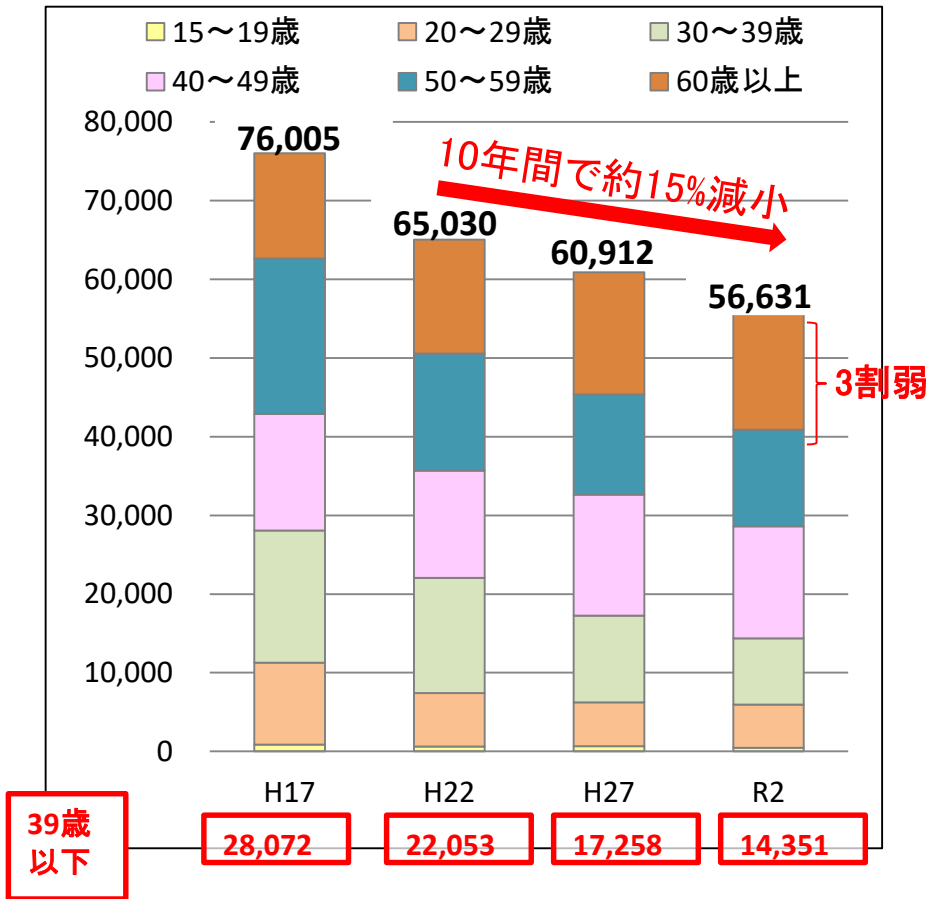


出典) 総務省「国勢調査」

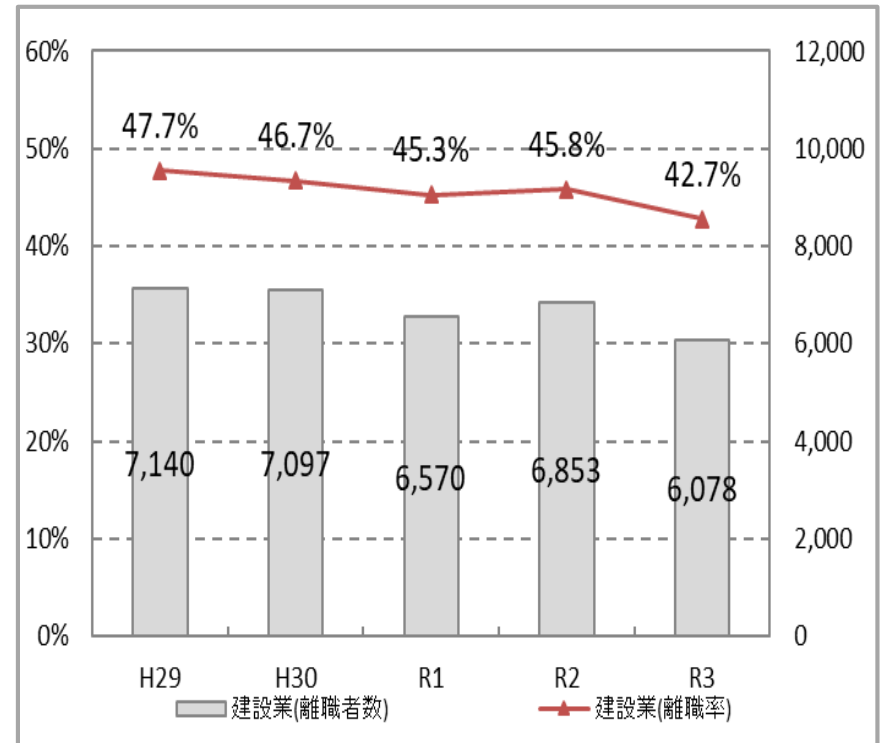


2. 県内建設業の現状

三重県の建設業就業者数の変遷



建設業の新規高校卒就業者の
3年目までの離職状況



出典：厚生労働省「新規学校卒業就業者・離職状況調査結果」

出典) 総務省「国勢調査」



3. 建設業が直面する喫緊の課題

担い手確保・育成に向けた取組

技術や技能の承継に向けた取組

第三次
三重県建設産業
活性化プラン

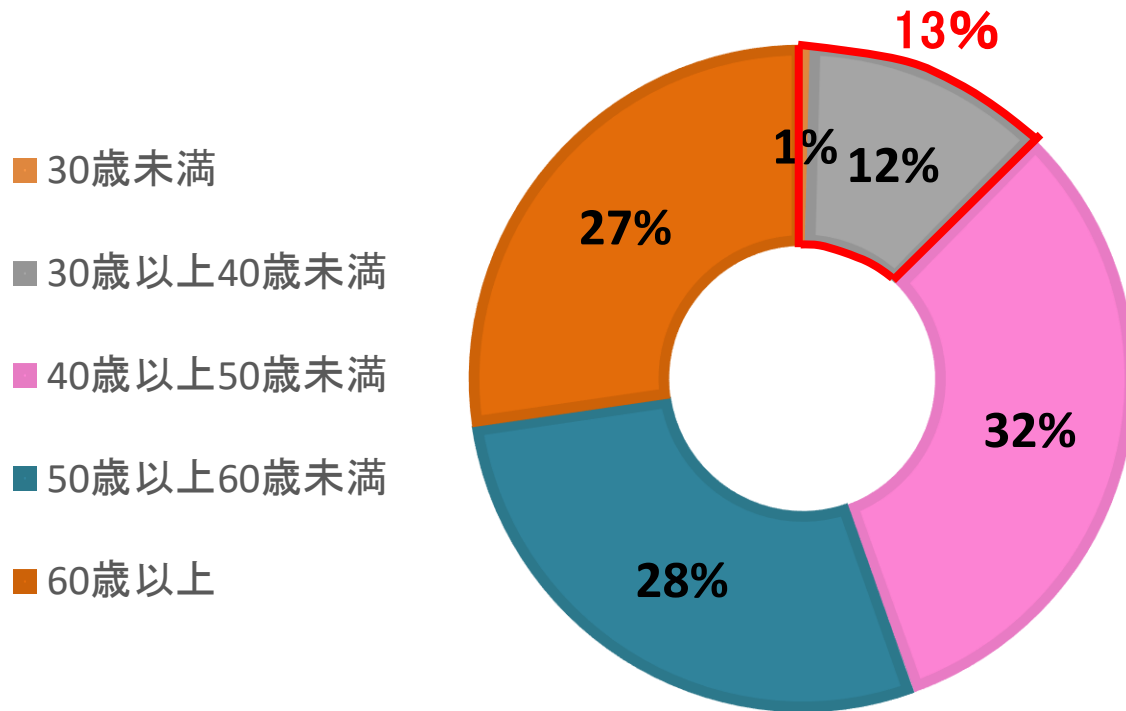
R2～R5





3. 建設業が直面する喫緊の課題

工事における配置技術者の年齢構成



工事現場を仕切る技術者
⇒ベテラン技術者が多い

若手技術者への技術の承継



優良工事表彰において若手部門を創設（R3～）

三重県と建設業界が連携して進める「第三次三重県建設産業活性化プラン」の取組の一つで、継続的な技術力の維持・向上につなげることを目的に、推奨すべき実績を収めた施工者及び技術者を表彰する制度。

建設現場では若年層の減少が進行しており、これまで現場を支えてきた技術・技能の継承を目的とし、令和3年度から40歳未満の若手技術者の登用を促すための若手部門の表彰を創設。

今後も地域の発展に貢献していきたい

人材の育成や技術の継承に力を注いでおり、このような表彰制度が一層励みになる

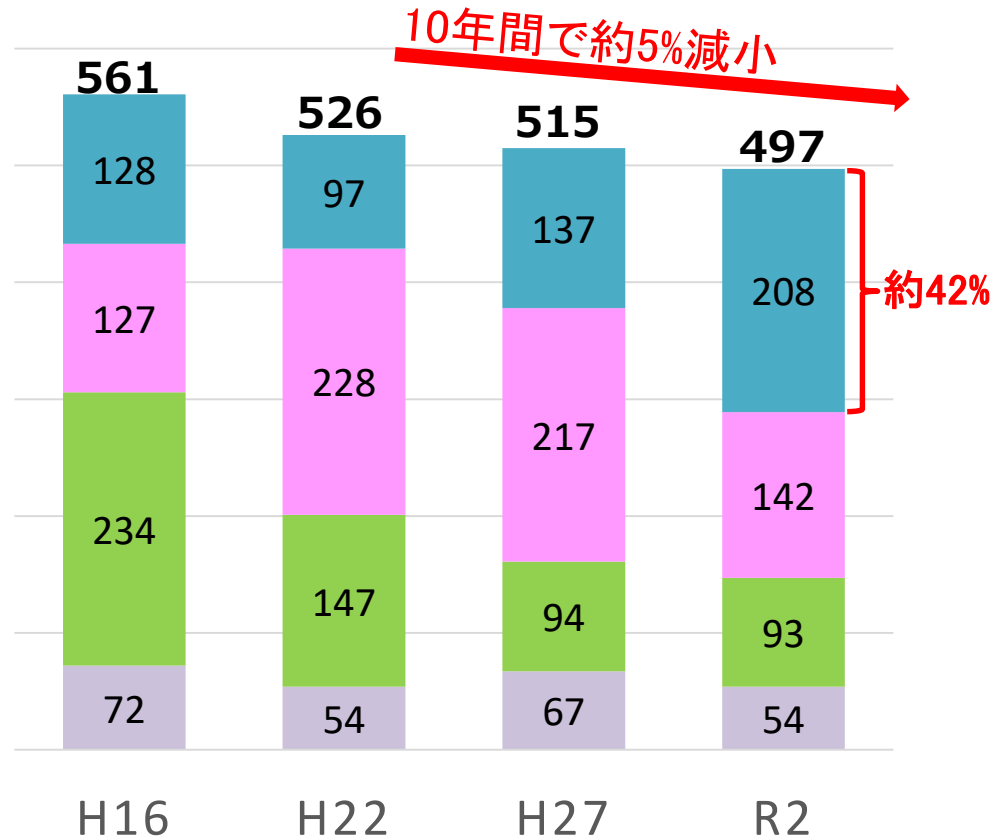




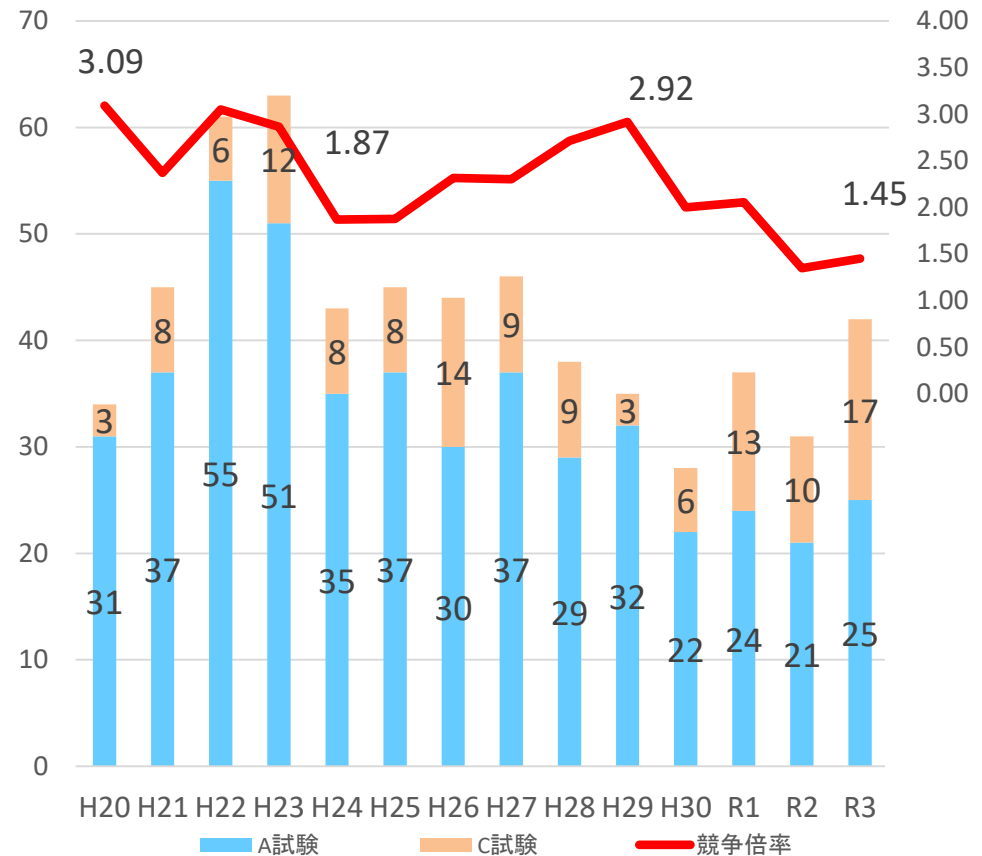
5. 県土整備部が直面する喫緊の課題

県土整備部土木技術職員数の変遷

■ 30歳未満 ■ 40歳未満 ■ 50歳未満 ■ 50歳以上



県採用試験受験状況 (総合土木)





6. 県土整備部における技術力承継の取組

いつでもどこでも学べる i-どぼくゼミ 技術承継 失われていく現場技術力を取り戻す



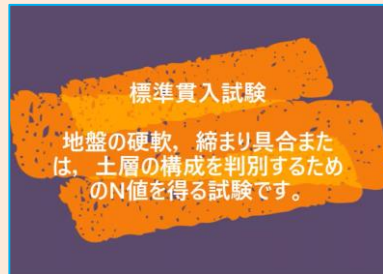
- ・事業報告会
- ・再評価
- ・事業PRポスター



- ・不具合事例
- ・地質調査・測量
- ・BIM/CIM
etc



- ・現場研修会
- ・段階確認
- ・遠隔臨場
etc



動画を用いてアーカイブ化

OBによる研修会

日時 7/7 木

日時 8/25 木
14:00~16:00
at: 熊野庁舎大会議室A
web配信 (Zoom) 予定

講師紹介

元熊野建設事務所長 **里 宏幸氏**
建設業者はよく頑張ってくれた。職員には無理を強いた。
忘れられない 紀伊半島大水害災害行動記録より

講師紹介

(公益社団法人)全国防災協会
災害復旧技術専門家 **中平 弘氏**

ノウハウ、コツの伝承など